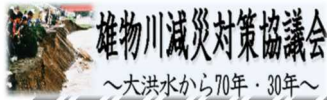


記者発表資料



令和4年11月2日
雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会

大規模氾濫を想定した危機管理演習を行います

～河川管理者と自治体との避難情報着目型タイムラインの検証・改善～

危機管理演習は、雄物川圏域の減災対策協議会における「雄物川の減災に係る取り組み方針」に基づき、大規模氾濫を想定し、ロールプレイング方式により行います。
本演習は、今後の大規模氾濫時への備えとして、河川管理者と自治体が協力して作成した”避難指示等の発令に着目したタイムライン”の検証・改善および防災対応行動の確認・習熟を目的とするものです。今回は、横手市と湯沢河川国道事務所が合同で実施します。

※雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会について

雄物川の大規模氾濫による被害軽減を図るため、市町村、県、国等が連携・協力して実施するハード・ソフト対策を「雄物川の減災に係る取り組み方針」として策定し、減災のための各種取り組みを行っているものです。

※ロールプレイング方式について（詳しい内容は別紙資料を参照願います）

指揮部（コントローラー）と演習部（プレイヤー）に分かれ、シナリオを一切知らされていない演習部が指揮部から与えられる災害情報等を、収集・分析し、実際の災害時を想定して適切に状況判断を行い行動していく演習方式です。

<危機管理演習>

1. 実施日時：令和4年11月8日（火）13時00分～16時00分
2. 実施場所：横手市役所 条里北庁舎 3階災害対策本部室
湯沢河川国道事務所 新庁舎 2階災害対策室
3. 参加機関：横手市、湯沢河川国道事務所 合計 約80名
4. 演習想定：横手市域に係る雄物川、横手川、大納川、上溝川、皆瀬川、成瀬川を対象

<検討会>

1. 日時：令和4年11月8日（火）16時15分～17時15分
2. 場所：横手市役所及び湯沢河川国道事務所の両演習会場においてTV会議にて実施
3. 内容：演習の評価結果・講評、意見交換など

※注意事項

- 1) マスコミ関係者で取材を希望される場合は、11月4日（金）16時までに「別紙申込書」に記入のうえ、FAXにてご連絡頂きますようお願いいたします。
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からマスク着用にて対応をお願いします。
- 3) 当日の気象、水質事故、地震等の状況により延期となる場合があります。

※発表記者會 秋田県政記者會、横手記者會、秋田建設関係専門紙、大仙市地方紙

<問い合わせ先>

（雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会事務局）

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

住所 湯沢市関口字上寺沢64-2

電話 0183-73-5544（調査第一課直通）

副所長（河川） 阿部 健一（内線204）

建設専門官（河川） 三浦 司（内線403）

横手市 総務企画部 危機対策課

住所 横手市条里一丁目1番1号

電話 0182-35-2195（代表）

副主査 矢野 悠紀

【新型コロナウイルス感染拡大に関する対応】

- ・発熱、風邪の症状、咳、体調不良等の方は取材(傍聴)をご遠慮ください。
- ・取材(傍聴)中のマスク着用など、取材(傍聴)される方のご自身で感染予防対策をお願いします。
- ・当日、取材(傍聴)される方、全員の記名をお願いします。
- ・会場にアルコール消毒液を設置しています。

「大規模災害を想定した危機管理演習」
取材(傍聴)申込書

送信先:湯沢河川国道事務所 調査第一課 あて

FAX番号:0183-72-2164

ふりがな	
お名前	
ご所属(会社名)	
ご連絡先(TEL)	
取材先にチェック願います	<input type="checkbox"/> 湯沢河川国道事務所 ・ <input type="checkbox"/> 横手市
その他	

※送り状は不要ですので、本紙をそのままFAXしてください。

【連絡先】

湯沢河川国道事務所 調査第一課

TEL 0183-73-5544

【当日の取材等について】

- ・当日演習開始前の取材は原則お受けできません。
- ・演習内の写真・テレビ撮影は、「演習開始13:00から終了16:00まで」、といたします。
- ・演習中は、写真・テレビ撮影は可能としますが、演習者への取材等はお受けできません。
- ・演習終了後(16:00から20分程度)、記者ブリーフィングを演習室にて行います。
- ・上記の他、演習を円滑に進めるため、事務局の指示にご協力をお願いします。

令和4年度 雄物川危機管理演習

概要資料

令和4年11月

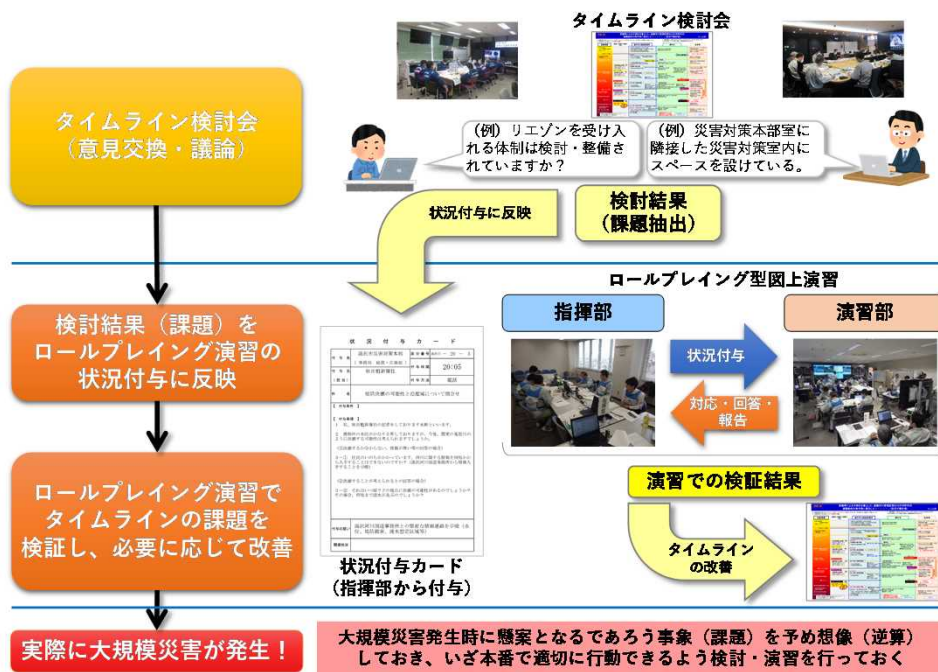
国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

令和4年度 雄物川危機管理演習 概要①

1. 演習目的

本演習では、「雄物川の減災に係る取組方針」に基づく取り組みの一環として、雄物川流域の自治体において策定された「前線に伴う洪水等を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）（案）」に基づき、「タイムライン検討会」および「ロールプレイング型図上演習」を実施し、タイムラインの有効性を検証・改善するとともに、災害初動期の対応行動の確認および習熟を目的とした演習である。

今回実施する「ロールプレイング型図上演習」は、国（湯沢河川国道事務所）と自治体（横手市）の災害対策本部（支部）の運営について実践的に訓練することを基本とする。なお、「ロールプレイング型図上演習」に先立ち、事前に実施された「タイムライン検討会」において確認・議論し、抽出された課題に対しても、本演習で実践し、質の高い演習の実施につなげるものである。



タイムライン検討会とロールプレイング型図上演習の流れ

2. 過去の演習実績

実施日	演習方式	参加主体 (河川管理者)	参加主体 (流域自治体)
平成29年11月2日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	横手市
平成30年11月1日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	湯沢市
令和元年11月20日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	大仙市
令和2年 ※感染症拡大のため延期	ロールプレイング型図上演習	秋田河川国道事務所	秋田市
令和3年11月26日	討論型図上演習 (タイムライン検討会)	秋田河川国道事務所	秋田市

3. 演習参加機関

本年度、演習部として参加する主体機関は、河川管理者として「湯沢河川国道事務所」、流域自治体として「横手市」である。

指揮部	演習部
<ul style="list-style-type: none"> 湯沢河川国道事務所 横手市 	<ul style="list-style-type: none"> 湯沢河川国道事務所 横手市

4. 開催日・会場

- ◆開催日：令和4年11月8日（火）
 - ◆会場：①湯沢河川国道事務所、②横手市役所条里北庁舎
- ※演習は、①、②の2会場ですべて同時実施
 ※演習直前説明、演習後の意見交換会はTV会議で実施

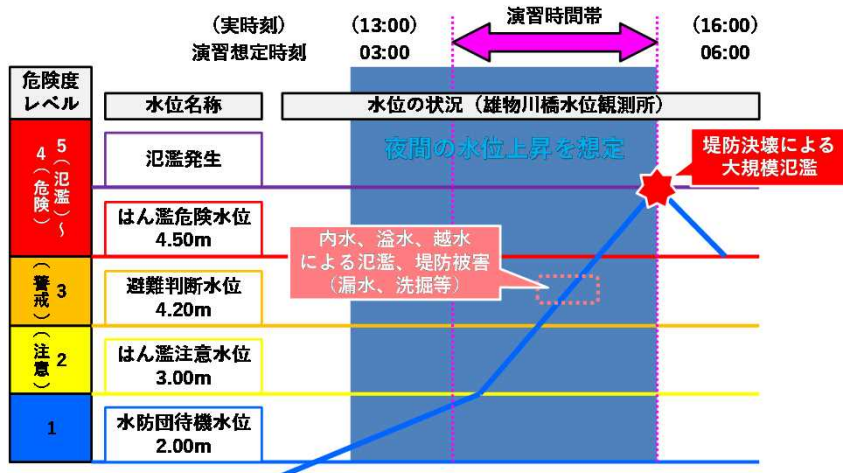
5. 演習スケジュール

時刻	次第
12:30 ~ 12:35 (5分)	開会・挨拶
12:35 ~ 13:00 (25分)	演習直前説明・初期情報の確認
13:00 ~ 16:00 (180分)	演習
16:00 ~ 16:15 (15分)	休憩・TV会議準備
16:15 ~ 17:10 (55分)	演習後の意見交換会・講評
17:10 ~ 17:15 (5分)	閉会・挨拶

令和4年度 雄物川危機管理演習 概要②

5. 演習場面

雄物川流域において、大規模な洪水が発生したと想定する。雄物川や皆瀬川等の水位が夜間に急激に上昇し、住民避難等の災害対処活動が切迫する時間帯を演習場面とする。



参考 ロールプレイング型図上演習とは

- 災害対策本部の運営について効果的に訓練するための図上演習の方式。
- 大規模災害を想定した状況（被害想定、シナリオ）をつくり、図上で災害を模擬体験する。
- 演習を受ける側（演習部）と運営する側（指揮部）に分かれる。指揮部はシナリオを知っているが、演習部はシナリオを知らされていない。
- 演習部は、指揮部の演じる役割（関係機関、住民など）からの情報を収集・整理・分析し、状況判断の上、なすべき行動を決断・指示して、実施後の報告を受けるという一連の動きについて訓練する。



ロールプレイング型図上演習の様子（左：演習部、右：指揮部）

6. 演習対象地域

- ・市町村域：主に横手市域
- ・河川：雄物川、横手川、大納川、上溝川、皆瀬川、成瀬川

7. 主要演習項目

①迅速かつ適切な情報収集・分析

- (a) 災害情報（気象、雨量、水位、現地状況等）の収集
- (b) 収集情報の整理および管内の状況把握
- (c) 今後の見通し分析 (d) 組織内での情報共有
- (e) 上部機関への報告 (f) 関係機関等との情報連絡【★連携】等

②的確な状況判断（夜間の急激な水位上昇に対する避難情報の発令等）

- (a) 河川管理者から自治体に対する情報の提供・解説【★連携】
- (b) 避難指示等の適切な発令 (c) 災害対策用機械による減災対応【★連携】等

③大規模洪水における行政担当者の住民への情報伝達

- (a) 住民への避難に関する効果的な広報、情報伝達【★連携】
- (b) 住民・マスコミからの問合せ対応 等

④浸水想定区域における適切な避難誘導

- (a) 浸水想定区域の把握【★連携】 (b) 浸水想定区域に関する住民への情報提供
- (c) 浸水想定区域を考慮した避難誘導
- (d) 現場要員（市職員・消防団）への適切な情報提供
- (e) 関係機関（警察等）への適切な情報提供・避難誘導の協力依頼 等

⑤河川管理者と流域自治体の緊密な連携

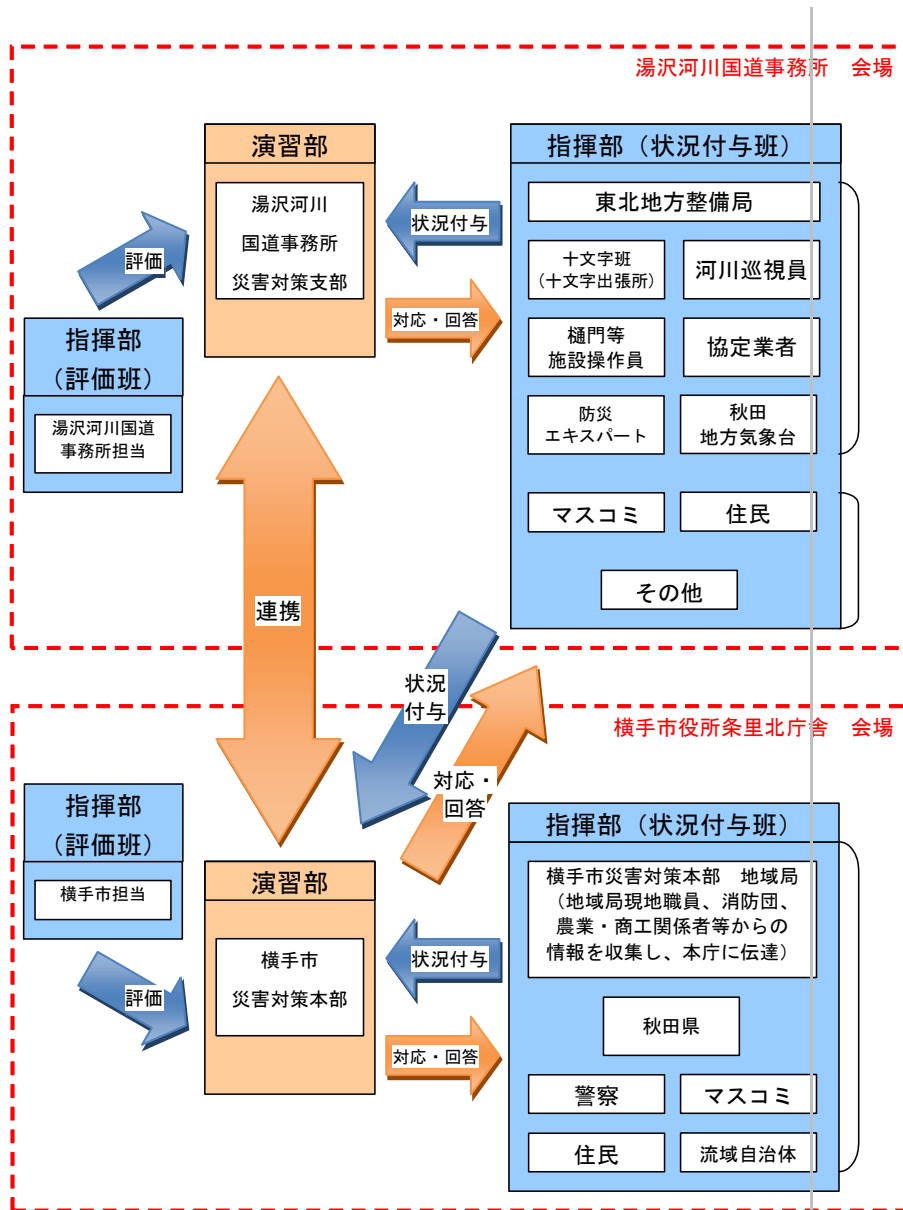
- (a) 他の主要演習項目（①～④）に【★連携】と記載

8. タイムライン検討会での検討項目

検討事項	検討内容（概要）
①リエゾン派遣に関して	リエゾン派遣のタイミングの修正
②洪水予報に関して	洪水予報（氾濫する可能性のある水位）の確認
③水位の見込み、漏水・浸水情報の提供に関して	氾濫シミュレーション結果、国交省ポータルサイト、水位予測結果の提供についての確認
	水害リスクラインの確認 漏水・浸水情報の伝達担当班の確認
④避難情報に関して	ホットラインの役割の確認
⑤災害対策用機械派遣に関して	排水ポンプ車による内水排除の可否の確認

令和4年度 雄物川危機管理演習 概要③

9. 演習実施体制



10. スケジュール

◆11月8日(火)：ロールプレイング型図上演習

時刻	次第	会場① (湯沢河国)	会場② (横手市)
12:30~12:35 (5分)	開会・挨拶 (2会場をウェブ会議接続)	◆代表者の御挨拶	
12:35~12:45 (10分)	演習直前説明 (2会場をウェブ会議接続)	◆演習説明	
12:45~13:00 (15分)	初期情報の確認	-	-
13:00~16:00 (180分)	演習	-	-
16:00~16:15 (15分)	休憩・準備	◆会場準備	◆会場準備
16:15~17:15 (60分)	演習後の意見交換会・講評 (2会場をウェブ会議接続)	◆委託業者によるシナリオ概要説明 ◆代表者の意見・講評	

◆11月8日(火)：演習後の意見交換会・講評

時刻	次第	担当
16:15~16:25 (10分)	シナリオ概要説明	◆事務局
16:25~17:00 (35分)	代表者の意見・講評 (一人当たり3分程度)	◆湯沢河川国道事務所 (代表者3名程度) ◆横手市 (代表者3名程度) ◆指揮部 (代表者4名程度)
17:00~17:10 (10分)	意見交換・要望など (※)	◆事務局
17:10~17:15 (5分)	閉会・挨拶	◆代表者の御挨拶